



# 一本道

相良中学校通信 No.37

令和6年3月8日

校長 吉田憲一

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を」

## 1 合同数学、3年生から学び+1年生に教える

2月27日、「3年生と1年生の合同数学」が行われました。残念ながら私は参観に行けませんでした。写真や学級通信の記事から、とても良い学びになったようです。そこでその記事の一部を紹介します。

【記事】(略) 始めは緊張もありましたが、1年生の分からない数学の問題を3年生が立派に教えてくれました。数学だけにとどまらず、日頃は質問できない進路のことなどを質問し、3年生から多くのことを学ぶことができましたと思います。

【3年生田山もなさんの感想】行事とか休みの日とか関係なく1日1日を大切に楽しんでください。部活でも自分の全力を出し切ってほしいです。勉強はこれから難しくなってきた「だるいな〜」と思うときもあるけど、そこから放置しないでもう一回挑戦してほしいです。後悔のないように、今をしっかりと楽しんでください。

【1年生山下まひろさんの感想】合同数学を通して、3年生の大切さに改めて気がつきました。3年生が今まで引っ張ってくれたから、行事が充実していたし、3年生のおかげで学校がまとまっていたと思います。3年生が残してくれたものを受け継いで、今の3年生のような先輩になりたいです。



## 2 卒業カレンダー、素敵な言葉が！

3月6日、3年生の教室の後ろには、すでに使用した卒業カレンダーが飾ってありました。



数字の下には、「みんなへのメッセージ」として、素敵な言葉がたくさんありました。その中で、あと「15日」のカレンダーに書いてあった言葉を紹介します。子供の感性って素敵です。

1年生の時、何もできなかった僕達。2年生の時、色々怒られた僕達。成長するきっかけをくれた長野先生。3年生の時、色んなことに挑戦した僕達。僕たちを見守ってくれた中満先生。3年間お世話になった一代先生。あと15日です。今までの8年間に比べれば、秒で終わります。なので、秒に感じないように、濃い15日間にして、みんなで卒業しましょう。

(3年：吉松あきとくん)

## 3 卒業文集「第二の家」、一人一人の思いが た〜くさん

3月6日、学年主任の先生から「卒業文集『第二の家』」を頂きました。中には、一人一人の作文があり、全員分読みました。中学校で挑戦したこと、中学校での成長、将来のこと、友達への感謝、先生への感謝、親への感謝等、普段なかなか言えない自分の気持ちがいしっかりと綴られていました。3年生の保護者の皆様、子供さんの思いをしっかりと共有してあげてください。



相良中 HP へ



3年生の皆さん、3月10日(日)の卒業式、最後の授業として、皆さんの凛とした「晴れ姿」を楽しみにしています。卒業おめでとう。